

児童と家庭の意思を尊重する教育環境を

梶井 琢太
(未来政策フォーラム)



質問 市内小・中学校での1人1台のタブレット端末を活用した授業に関し、①アンケートを早期に実施すべき、②端末の持ち帰りによる家庭学習の実施について今年度中に検討をすべき。

答弁 ①アンケートは児童・生徒、教員を対象に今年度は2回実施する予定。2学期と3学期に行い成果や課題を明確にする。②学校の活用状況、子どもたちの習得状況を把握しながら検討・研究する。今年度じっくりと考えたい。

質問 小・中学校のオリパラ観戦に関し、コロナ禍の下、熱中症のリスクもある中、都心まで児童・生徒を引率するのは無理がある。仮に実施する場合でも、少なくとも出欠の対応は家庭や児童の意思を尊重し柔軟に対応すべき。

答弁 観戦に行かず勉強したい児童・生徒は学校で教員が対応して出席扱いにしたり、どちらにも行きたくない場合も出席停止にする等検討をしている。

危機だからこそ責任ある決断を！

宮川 豊史
(久留米ハートネット)



質問 日本の借金は、ついに1200兆円を超えた。今はコロナ対策が最優先だが、この莫大な借金は将来の子どもたちが返すことになる。私は歳出削減に取り組む改革の時代が必ず来ると信じる。もし改革できなければ、待ち受けるのは大増税時代。コロナ増税だけは絶対に許さない。コロナ禍の仕事は、これまでにない厳しさ、難しさ、苦しさがあるが、今この時代に生きていくこと、今直面している仕事こそ、自分の使命だと感じて頑張つて欲しい。

都計計画道路東3・4・13および21号線整備の総額は、

答弁 約130億円。

質問 そのうち市の負担はいくらか。

答弁 4分の1だが、全額が補助金対象ではない。

質問 市民みんなのまつりは、市長の責任で中止すべきでは。

市長 連絡協議会が判断する。

議員報酬の削減はどうなるのか

佐藤 一郎
(未来政策フォーラム)



質問 特別職報酬審議会の開催が当初の予定通り進んでいないようだが。

答弁 新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言中であるため、開催を見合わせている。今後のスケジュールは、同感染症の状況や社会情勢の変化などを踏まえて検討していく。

質問 同審議会への諮問事項には、政務活動費も対象とする予定か。

答弁 同審議会には直近で平成15年に諮問しており、当時の政務調査費も一体的に検討された経緯があり、今回もほぼ同じ内容で考えている。

質問 同審議会は何回の開催を予定している、いつ頃答申をもらう予定か。

答弁 4回を想定している。現在も緊急事態宣言中であり、今年中に答申を取りまとめたうえでいただくことは難しいと考えている。

要望 今年中が無理なら来年6月の期末手当に間に合わせてもらいたい。

子どもたちがボール遊びできる環境を

富田 竜馬
(改革市民派無所属)



質問 コロナ対策として、①事業者の固定資産税減税の次年度の継続、②子育て世帯の住民税減税、③大学生等へ給付型奨学金などの支援ができないか。

答弁 ①国の制度は今年度限りであり、市独自では難しい。②課税の公平性に反することにもなり難しい。③困窮する学生には国による支援制度があり、市として支援策を講じることは現時点で考えていない。

質問 市内179カ所全ての都市公園を自ら実地調査した。市はボール遊びできる広場は8カ所と言ったが実態は6カ所。都や公社等の敷地を借りるなど、各小学校区に1カ所は整備すべきでは。

答弁 整備費等の財源捻出が難しい。

質問 市内のグラウンド環境向上には、滝山球場の拡張再整備が現実的。その財源確保に向け、グラウンド等整備基金を創設してはどうか。

答弁 厳しい財政状況であり難しい。

市政のここが聞きたい

第2回定例会の一般質問は、6月9日・10日・11日・14日の4日間で行われ、21名の議員が当面する市政運営について市長の姿勢や考え方を質問しました。主な内容を掲載します。一般質問を含む第2回定例会の本会議の録画映像は、市ホームページのインターネット映像配信でご覧いただけます。会議録は、8月下旬から、市ホームページ(PDF版は8月中旬)または、市立図書館、各コミュニティ図書室、市政情報コーナー(市役所1階)でご覧いただけます。

東久留米市地域資源PRキャラクター

湧水の妖精
るるめちゃん



人に優しいデジタル化

島崎 孝
(自民クラブ)



質問 国民が必要とするサービスを迅速に公平に行うための行政のデジタル化が強く必要だと考え、①デジタル改革関連法の制定および改正の概要、②デジタル・ガバメント実行計画の概要および今後の法改正との関連について伺う。

答弁 ①デジタル社会形成基本法では、経済の持続的かつ健全な発展と国民の幸福な生活の実現のため、国民の利便性向上を図るデータ活用等、デジタル社会の形成に関する基本理念および施策の策定に係る基本方針を定めた。②同実行計画に示されたデジタル庁の設置等各項目に係る取り組みを進め、「デジタルの活用により、一人ひとりのニーズに合ったサービスを選ぶことができ、多様な幸せが実現できる社会」誰一人取り残さない、人に優しいデジタル化」の実現のため、デジタル改革関連法が公布された。

がんばろう！ 東久留米！

野島 武夫
(自民クラブ)



質問 本市のキャッシュレスポイント還元事業の概要は。

答弁 電子決済を行っている事業者と委託契約の上、ポイント還元キャンペーンを行う。利用店舗は市内の小売・サービス店とし、大型・チェーン店は除く。市内在住者だけでなく、市外在住者も対象とし、還元ポイントは25%、1回当たり3000円、期間合計2万円を上限とする。期間は9月1日～10月31日とした。

質問 スポーツ健康都市宣言を契機に市民のスポーツ振興に向けてどのような取り組みでいくのか。

答弁 今年度は、9月19日には、巡回ラジオ体操・みんなの体操会を上原グラウンドに招致する予定。今後に向けて、体育協会やスポーツセンター指定管理者をはじめ、さまざまな団体や企業などとも連携し、市民スポーツの振興に取り組んでいきたい。

行政課題に対して機敏に対応すべき

沢田 孝康
(公明党)



質問 学校現場におけるヤングケアラーの実態調査の進捗は。

答弁 全校にスクールソーシャルワーカーを派遣し、各校のスクールカウンセラーや管理職に聞き取りを行うことを決め、昨年10月から今年1月にかけて調査を行った。その結果、小・中学校それぞれ数名、親の介護をしている子や相談事を聞いている子の事実が一部認められた。また、子ども自身が、家族のために望んで家事を行うことがやりがいとなっている事例もあった。

質問 映画、ミュージックビデオ等のロケ地として、閉校した下里小学校に誘致する考えは。

答弁 現時点で、利活用の予定はまだ検討段階で、今年度中に決定することは困難である。また、方針が決まったとしても、設計や工事を考慮すると相応の期間が必要になると考える。

要望 早急に検討していただきたい。

新たな道路維持管理の構築を求む！

高橋 和義
(公明党)



質問 市道219号線(柳窪前原通り)に歩行者の安全対策が必要では。

答弁 注意喚起の看板や路面標示の設置、路側帯のカラー舗装などを行ってきた。本年度の舗装補修工事では、カラー舗装の塗り直しを行う。

質問 ビッグデータを活用した道路の舗装劣化状況の確認・点検の検討は。

答弁 次の道路舗装補修工事5カ年計画策定の前に調査・研究したい。

質問 幼児教育無償化後も、保育園や幼稚園などを利用していない児童(無園児)の実態を把握できないか。

答弁 認可外保育園やインターナショナルスクールなどもあり、市が正確な人数などを把握することは難しい。

質問 虐待やネグレクトの兆候に、保育園や幼稚園などでいち早く気付く必要性を感じるが見解は。

答弁 関係機関につなぐなど連携して対応に当たることが必要と考えている。

学童保育所の民間委託は中止を！

鴨志田 芳美
(日本共産党)



質問 学童保育所の民間委託拡大に向けた説明会について、①実施状況は、②オンライン開催の検討は。

答弁 ①職員への説明会は、4月30日と5月6日に実施。保護者への説明会は、5月下旬の予定だったが、緊急事態宣言に伴い延期し、6月下旬に開催予定。②今回は2回行うことで参加者を分散し、オンラインは考えていない。

質問 学童の待機児童の対応について、①その状況は、②所増増築の検討は。

答弁 ①4月時点で待機児童は、第五・第九・小山・南町小学校の合計48名、昨年と比較して減少。小山小学校では、退所や申請の取り下げがあり、6月に待機児童が解消。第五・南町小学校では、特別教室借用のめどが立ち、職員募集を行っている。第九小学校では、2教室目の借用を調整中。②場所や費用など課題があり難しい。特別教室等の借用で対応していきたい。

エアコン購入設置助成制度の実施を

北村 龍太
(日本共産党)



質問 厚生労働省の生活保護に関するリーフレットに「ためらわずにご相談ください」と記述が追加されたように、市ホームページにも同様の記載ができないか。

市長 現在も生活保護に関して、しっかりと紹介を行い、相談も受けているので、私はこのまま変える必要はないと考えている。

質問 高齢者や生活困窮者の熱中症対策として、エアコン購入設置助成制度の創設を求めるが見解を伺う。

答弁 担当部署、地域包括支援センター、介護従事者などと連携し、適切な冷房使用などの普及啓発と注意喚起に取り組んでいくので、現時点では市として独自の助成を行う考えはない。

要望 呼び掛けも重要だが、経済的な困難によってエアコンを買えない方も多いと思う。コロナ禍の対策が必要で、今、ぜひとも実施してもらいたい。